

武士道とフェアプレーの共通点

神奈川県川崎市立幸小学校5年 吉澤彩葉
富山県富山市立新庄中学校1年 新鞍明花莉

正しいマナーで勝負

- ・決められたルールの中で正々堂々勝負する事で相手の選手とも仲良くなれる。
- ・正しいマナーを身につけ、良い人間になる。
- ・規則に従う。時間厳守。

気持ちを考える

- ・不服な態度をとらない。
- ・不正、卑怯、無礼をにくむ精神。
- ・試合で全力を出しても負けた時は仕方がないと思う。

自慢や思いあがらない

(下の人) 自分への下の人への感謝と思いやり。

(同僚) 同僚への親しみと励まし合い、友情。

(上の人) 自分より上の人への努力と敬い。

リスペクト。敬意を持つ。

どれにもあてはまる。

個々の精神

- ・日本人が最も心に訴えられる精神。
- ・武士道とは・・・外国では学校で宗教教育があり、道徳教育を受けるが、日本では武士道という生き方で道徳教育されている。
- ・自分の意見を持ち、人に左右されない。
- ・自制心を持つ。

本気全力

- ・常に本気。全力で取り組む。
- ・練習はうそをつかないからいつも本気全力でやる。
- ・不可能を可能にするのは練習。毎日、本気で練習をする。よって本番でもベストをつくせるようになる。
- ・出せない技もどんどん練磨していけば、ぜったい出せるようになる。
- ・試合に勝ちたければ色々細かいことに気を付ける事。

品の良さ

- ・正しくいさぎよく礼節をもって勝負する事で気持ちがすっきりする。
- ・礼儀正しく、いさぎよく、礼節をもつ。

相手を考える

- ・ちょっとずるをしても勝てば良いんじゃないか？ そう思う時がある。自分が負けそうな時、自分が有利に勝つためにずるをする。
- ・相手のことを考え利を求めようとしない。

勇

- ・負けてもグッドルーザーを大切にし、目標を立て、次につなげる。(失敗で終わらない)

義

- ・マナーを身につければ人として正しいことができる。(正しいと思うことを行う)

礼

- ・心のこもった「礼」をする。(心からのあいさつを行う)

名誉

- ・自分の務め責任をしっかりとまじめに行う。(何事にも一生けんめいに行う)

全体のまとめ

フェアプレーの精神とは、日本人らしく、

- ・戦う相手の事を考え
- ・自分だけではなく、周りも見て、さすがしくいられるプレーのこと。
- ・また、スポーツやプレーを楽しむうえで欠かせないもの。

武士道とフェアプレーの精神！！

礼儀正しく相手を敬う心

感想

私達は、大使として、アメリカへホームステイをする時に、日本の品格の良さや、相手の思いを考えて行動しようとする気持ちを大切にしようと思改めて感じました。